

平成30年度 企業部門

| 受賞者 | 活動内容 | 評価ポイント |
|-------|---|--|
| (株)明治 | <p align="center">【株式会社 明治自然環境保全区での生物多様性保全活動】</p> <p>2007年に根室市に所有する社有地のうち467haを「(株)明治自然環境保全区」とし、公益財団法人日本野鳥の会と野鳥保護に関する取組を進める協定を結び、「(株)明治野鳥保護区槍昔・牧の内」を設定。野鳥の保護活動とともに、年2回全国のグループ会社従業員からボランティアを募り、日本野鳥の会と連携し活動を実施しています。また、根室管内の小学生とその保護者を対象とした「自然観察会」や、野鳥をテーマにしたイベントなどにも参加しています。</p> | <p>社有地を保護区とすることで、将来的にもその土地が保全されること、公益財団法人日本野鳥の会と連携して、地域に根ざした生物多様性保全活動を実施していること、自然観察会を実施し、地域住民の自然保護に対する意識も高めていることなどが評価されました。</p> <p>今後は、より(株)明治が主体となって生物多様性保全活動を実施することを期待します。</p> |



活動の様子



活動発表

平成30年度 企業部門

| 受賞者 | 活動内容 | 評価ポイント |
|---------|--|--|
| (株)ローソン | <p align="center">【「ローソン緑の募金」を活用した国内外における緑化事業の実施】</p> <p>地球に生きるすべての生き物にとってかけがえのない財産である森林を将来に残すため、1992年から店頭で「ローソン緑の募金」活動を継続しています。寄付金は、公益社団法人国土緑化推進機構を通じて、小・中学校などにおける緑化活動や森林整備活動に役立てられています。これらの活動には、フランチャイズ加盟店オーナー、店長、クルー(パート・アルバイト)、本部従業員も参加しており、これまで北海道では105回(2018年11月末時点)の緑化事業を行っています。</p> | <p>コンビニという場を活用して募金活動を長期間継続し、森林環境の保全に支援していること、身近な場所での活動において、フランチャイズ加盟店オーナー等や地域住民が協力して環境保全の取組を実施し、関わりを持つことで社会貢献活動への理解が深まる効果があることなどが評価されました。</p> <p>今後は、キャッシュレス社会に対応した「ローソン緑の募金」の新たな展開を期待します。</p> |



活動の様子



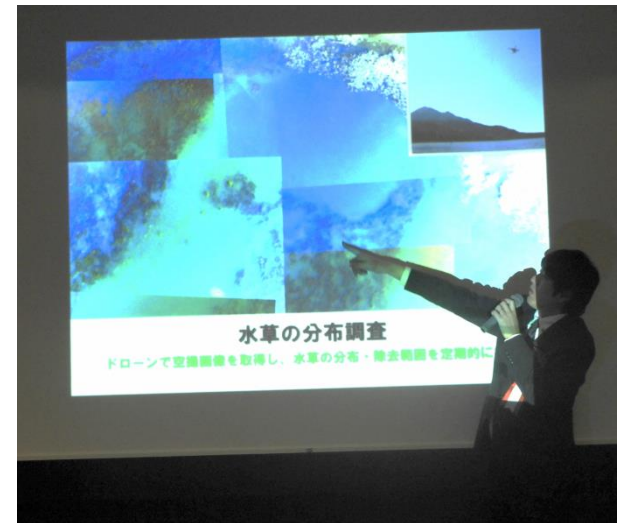
活動発表

平成30年度 一般部門

| 受賞者 | 活動内容 | 評価ポイント |
|----------------|---|---|
| 阿寒湖のマリモ保全推進委員会 | <p align="center">【特別天然記念物「阿寒湖のマリモ」の保護および普及啓発活動】</p> <p>国の特別天然記念物であり、環境省のレッドデータブックで絶滅危惧I類に分類されている「阿寒湖のマリモ」の恒久的な保全を目標として、当会の前身である「阿寒湖のマリモ保全対策協議会」が2012年に策定した「マリモ保護管理計画」を基本指針とし、1. 現存するマリモ群生地の保護活動や、2. 過去に消失したマリモ群生地の復元再生活動をはじめとした様々な取組を、官民25団体が地域住民と連携して進めています。</p> | <p>阿寒湖畔の大半の子供達が参加しており、「Myマリモ」など興味が湧く取組があること、水草の刈り取りに当たっては、在来種の保護にも配慮していること、地域の幅広い団体が参加する協働の取組であることなどが評価されました。</p> <p>阿寒湖の世界自然遺産登録を目指しているということで、さらなる活動の発展に期待します。</p> |



↑ 活動の様子 →



活動発表

平成30年度 一般部門

| 受賞者 | 活動内容 | 評価ポイント |
|---------------------------|--|--|
| <p>厚沢部町 河川資源保護振興会</p> | <p>【厚沢部川水系に生息する水生生物の保護・増殖と河川環境保全の啓蒙】</p> <p>カワヤツメやアユの人工種苗生産・放流、生息調査等を始め、厚沢部川水系に生息する水生生物の保護・増殖と河川環境保全に関する活動などを、町、道立総合研究機構さけ・ます内水面水産試験場、地元小学校などと連携し、長年にわたり継続して実施しています。また、土地改良区と協働した厚沢部川の清掃、草刈りの実施や、親子川釣り大会、川の生き物観察会、人工授精等の体験出前授業を開催し、河川環境保全と水生生物への理解を深める取組を実施しています。</p> | <p>半世紀に及ぶ長い取組の中で、水産資源管理から生物多様性保全という考え方に発展してきたこと、専門機関などと連携し、生態系に配慮した取組となっていること、次世代を担う小学生を対象に出前授業も実施しており、波及性が高いことなどが評価されました。</p> <p>今後も、人と自然との共生の大切さを学ぶ場をつくり、生物多様性保全に資する活動を実施することを期待します。</p> |



活動の様子



活動発表

表彰式



表彰式 記念写真



↑基調講演 | 動物学者 今泉 忠明 氏
 「おもしろい! 『ぎんねんないきもの』に学ぶ、
 生物多様性のふしぎ」
 ※「ぎんねんないきもの」は株式会社高橋書店
 の登録商標です。